

この資料は、分科会ごとに検討した「計画の理念など計画全体に関わる部分」を集約した資料（第6回リーダー会議資料1）をリーダー会議でさらに検討し、その内容を反映したものです。今後、起草委員会で総論を作成していくための材料に、また、分科会で提言シートを校正していく際に、「計画全体の理念・価値観」の共通概念を共有できるよう、事務局でまとめたものです。

各分科会における主な計画全体に関わる部分の検討結果

幸せな社会（まちづくりの理念）

- いつも人と人が信頼の絆でつながることで安心感が生まれ、幸福感を得られる社会
- 人の気持ちを思い、他人への思いやりにあふれた社会
- みんなが感謝の気持ちを持てる社会
- 多様な生きがいが尊重され、誰もが希望を持てる社会
- 子どもたちとのふれあい、つながりが生む幸せを実感できる社会
- 営利やスピードや物質を限りなく求める社会ではなく、ある程度の手前でよしとするよ
- くばらない社会
- 持続可能な社会
- みどり豊かな社会**
- より健全な財政基盤の上に成り立つ社会**
- 活力ある産業により発展する社会**
- 人とひと、自然が共生する活気ある社会**

背景

- ・ 東日本大震災（未曾有の大震災） 原発事故
- ・ 資本主義社会、経済至上主義の限界、長引く景気の低迷
- ・ 単身世帯、独居老人の増加、孤独死
- ・ 子どもたちが生きる将来への不安

幸せな社会を実現するために必要なこと

- ・ つながり、絆（親子、地域、異世代）
- ・ 「自助」、「共助」、「公助」
- ・ 地域の特色を活かしたまちづくり
- ・ ひとづくり（人材育成、後継者育成）
- ・ 安全、安心
- ・ あるものを有効に活用していく知恵
- ・ **ワークライフバランス**
- ・ **より健全な財政基盤の確保**
- ・ コミュニケーション（話すこと）
- ・ 八王子の「市民力」、「地域力」
- ・ 地域を大切に思える地域づくり
- ・ 子どもたちの将来を守っていくこと
- ・ 役割を担う大人が楽しいしくみづくり
- ・ **雇用の確保**

～今だからこそ、自分たちができること～

- ・ 小さなことから始めよう
- ・ 営利第一主義からの脱却
- ・ 一人ひとりが負担（金銭的なことも含む）をしていくこと
- ・ サラリーマン時代に気持ちがあってもできなかった社会貢献を今
- ・ 高齢者の勇気、若者の活力
- ・ コミュニケーションの再生、つながりをつくっていくためには、勇気や訓練も必要
- ・ 難しい課題を乗り越えていかないと突破できない時代だからこそ、自分たちが行動して未来をつくっていく。

第6回リーダー会議 計画全体に関わる部分の検討で提起された課題

- ✓ 日本全体の視点と八王子地域社会の視点をどうまとめていくか。
- ✓ 経済成長と幸福度の関係をどう捉えていくか。
- ✓ 玉虫色すぎてもどうか。色が良かった方がいいのではないか。今を生きる自分たちの責任とは？
- ✓ 今より大きな行政になるのか、小さな行政になるのか。
- ✓ コスト負担、原資を含めての記載がないがよいか。
- ✓ 市の政策への反映についてどう考えるか。